

〇〇市(町) 幼稚園等教員育成指標（副園長、教頭、主幹教諭、教諭、保育教諭等）

～乳幼児のウェルビーイングの向上を目指して～

「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」に向け、生涯を通じて学び続け、こども一人一人の夢の実現を支えていくことのできる教員の育成を目指す

キャリア ステージ		採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	
		辞令交付される4月1日			退職する日まで	
資 質 能 力		<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○様々な園の異動を経験する中で、視野を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・向上期に身に付けた力に加え、 ○自らの立場や役割を自覚して園運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 充実・発展期に身に付けた力に加え、 ○指導的な立場として、園運営のサポート役や園内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○園運営をリードする立場として、組織的に教育・保育活動を推進する体制を構築する。 	
	キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける					
教育・保育的素養・総合的人間力		<ul style="list-style-type: none"> ○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、乳幼児への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。 ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。 ○未来を切り拓く人材の育成を担う者として、常に乳幼児の模範となるよう行動している。 ○「ワークライフバランス」を良好に保ち、心身ともに健康的で職務に専念できるよう自己管理に努めている。 				
教育・保育業務遂行力 多様な教育・保育ニーズへの対応力・組織運営力以外の専門的な力	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 多様な教育・保育ニーズへの対応力 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法について理解し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の自発的な活動としての遊びを実現するため、「個別最適な学び」や「協働的な学び」のある教育・保育を実践している。 ○幼小中高の学びの連続性を持った教育・保育を実践している。 ○地域の人的・物的資源をつなげ、遊びを通じた学びの質を高める教育・保育を構想している。 ○幼児期の見方・考え方を理解した上で、必要な専門的知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・向上期に身に付けた力を深めることに加え、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○基礎・向上期に身に付けた力を深めている。 ○地域の人的・物的資源を有効活用し、遊びを通じた学びの質を高める教育・保育を構想している。 ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○充実・発展期に身に付けた力に加え、教育・保育力向上のための体制づくりに参画している。 ○充実・発展期に身に付けた力に加え、園・家庭・地域の実態や特色等を把握した上で教育課程を改善し、組織的かつ計画的に教育・保育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントに取り組んでいる。 ○自己の確かな実践に基づき、同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。
	多様な教育・保育ニーズへの対応力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児を理解する力は、的確なこども理解に基づいて行われることを理解しているとともに、人権尊重の意識を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。 ○他者を尊重しながら、主体的な選択・決定ができる力を育成する教育活動を実践している。 ○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質・能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。 ○基礎・向上期に身に付けた力を深めることに加え、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○基礎・向上期に身に付けた力を深めるとともに、外部機関と連携し、主体的・組織的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために、組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・園全体として乳幼児を支援する機能の充実を図っている。 ○充実・発展期に身に付けた力に加え、チーム園として組織的に実践するよう努めている。 ○充実・発展期に身に付けた力に加え、同僚への指導・助言を行っている。
	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 組織目標を達成するために必要な力 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の発達等に関する知識を得ることや、多様な乳幼児と接する経験を持つことなどを通して、多様な教育・保育ニーズへの対応に関する理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の対象となる乳幼児一人一人に応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。 ○外国につながる乳幼児の実態や特有の課題を的確に把握し、必要な支援を行うとともに、全ての乳幼児が広い視野を持って異文化を理解し共に生きていこうとする姿勢を育んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。 ○基礎・向上期に身に付けた力を深めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育・保育活動の改善を図っている。 ○充実・発展期に身に付けた力に加え、外国につながる乳幼児への指導について、組織的に教育・保育活動の改善を図っている。
	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織の一員として、園経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。 ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、メンターとして後輩のよき相談役となっている。 ○危険を予測し、未然に防止するための取組を、意識して行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。 ○同僚への指導・助言を行うなど、人材育成の経験を積むことで、その重要性を理解している。 ○危険を予測し、未然に防止するための取組を、同僚と協働して組織的に進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。 ○チーム園として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。 ○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。 ○危険を予測し、未然に防止するための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な教育・保育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。 ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止のための対策が迅速にできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な教育・保育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。 ○事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止のための対策が、同僚と協働して組織的にできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な教育・保育課題に対して模範となる実践を行うとともに、園全体を見据えて、魅力ある園づくりを推進している。 ○事故等への適切な対応、再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器や情報・教育データ、生成AIの活用能力が、教員の業務全般において必要となる力であるとともに、その使用にはリスク管理が必要であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器や情報、教育・保育データ、生成AIを適切に活用し、指導や支援を充実させたり、環境構成の改善を図ったりしている。 ○ICT機器や情報、教育・保育データ、生成AIを適切に活用し、個人及び園務全体の効率化を図ったり、業務改善を進めたりしている。 		
	組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教育・保育課題への対応（幼保小の円滑な接続など） ・業務改善 ・危機管理（クライシスマネジメント） ・ICT機器とデジタルツールの利活用 			

●上記表では教員に求められる資質能力の関係性を示しているが、順位性があるものではない。資質能力はバランス良く育成することが肝要である。
●深化・熟練期には、再任用教諭を含める。